

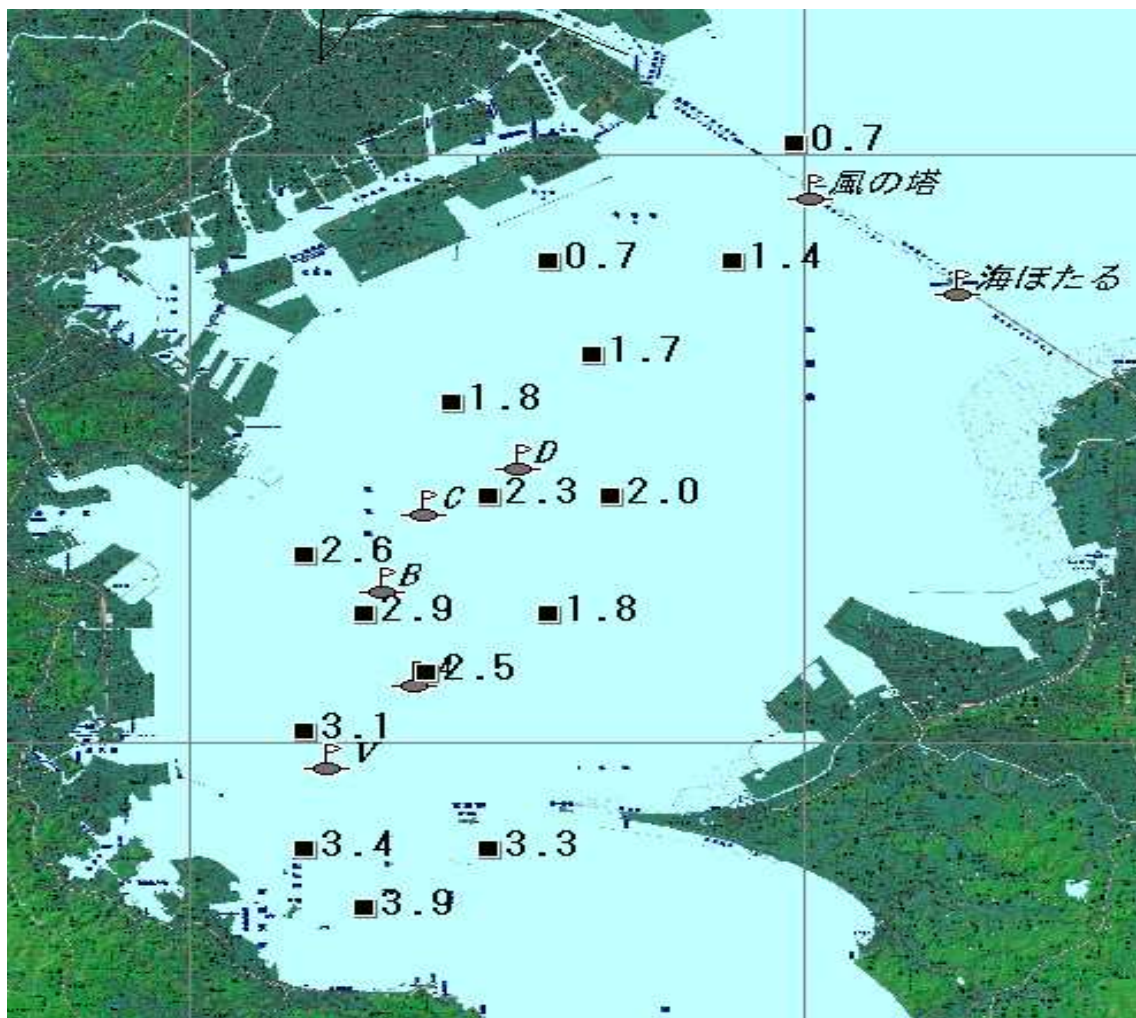
東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター

2005/08/08

漁業調査船うしおにより東京湾調査を実施しました。

- 扇島沖から風の塔周辺では水色が悪く、赤潮の一步手前です。
- 表層と底層の温度の差は、13℃程度です。
- 外洋水の浸入による高塩分水は中ノ瀬の西側の底層に分布していますが、勢力は弱いようです。
- 中ノ瀬以北では、貧酸素水塊（2.5ml/l以下）が拡がり、底層の溶存酸素量が低くなっています。
- Cブイより南では、貧酸素水塊（2.5ml/l以下）は高塩分水によって中層に押し上げられ、溶存酸素量は水深十数mで最も低くなっています。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター

資源環境部 電話 046(882)2313

表層と底層の水温差が大きくなっています。
漁獲物の取扱にご注意下さい。